

防衛省訓令第 87 号

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行令
(昭和 49 年政令第 228 号) 第 2 条第 1 項の規定に基づき、並びに防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律 (昭和 49 年法律 101 号) 第 3 条第 1 項及び防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則 (平成 19 年防衛施設庁告示第 9 号) を実施するため、防衛施設周辺障害防止事業補助金交付要綱を次のように定める。

平成 19 年 8 月 25 日

防衛大臣 小池 百合子

防衛施設周辺障害防止事業補助金交付要綱

改正 令和 2 年 12 月 28 日防衛省訓令第 67 号

改正 令和 5 年 3 月 31 日防衛省訓令第 22 号

(通則)

第 1 条 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律

(以下「法」という。) 第 3 条第 1 項の規定による補助金の交付に関しては、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 (昭和 30 年法律第 179 号)、

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行令（第4条において「令」という。）及び防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則（以下「交付規則」という。）その他の法令に定めるもののほか、この訓令の定めるところによる。

（補助金の交付）

第2条 法第3条第1項の規定による補助金の交付に関する事務は、地方防衛局長及び東海防衛支局長が行うものとする。

（補助の対象とする経費の範囲）

第3条 法第3条第1項の規定により、同項各号に掲げる施設について必要な工事（以下「事業」という。）を行う地方公共団体その他の者に対し、国が補助する経費は、次の各号に掲げる経費とする。

（1） 全体計画調査費 事業についての全体計画を作成するために必要な経費

（2） 工事費 障害を防止し又は軽減する工事（以

下「工事」という。)に必要な本工事費(直接工事費、間接工事費及び一般管理費等をいう。

)、附帯工事費、測量及び試験費、用地費及び補償費、施設及び機械器具費、各種工事負担金並びに工事雑費

(3) 実施設計費 工事の設計図書(工事の施工に必要な図面及び仕様書をいう。以下同じ。)を作成するために必要な経費

(4) 地方事務費 工事の実施に附帯して必要な事務費

2 前項第4号に規定する地方事務費で補助の対象とする額は、工事費の100分の5を超えない額とする。

(減ずる補助の割合)

第4条 令第2条の規定に基づき減ずる補助の割合は、別に定めるものとする。

(補助金等交付申請書の様式等)

第5条 交付規則第3条第1項に規定する補助金等交付申請書の様式は、別記第1号様式(国庫債務負担行為

に係る事業の場合にあっては、別記第2号様式)とし、同項に規定する添付書類は、次の各号に掲げる書類とする。

(1) 別記第3号様式(国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第4号様式)による事業の内容及び経費配分書

(2) 別記第5号様式による収支予算書

(軽微な変更)

第6条 交付規則第4条第1項第1号に規定する軽微な変更は、次の各号に掲げる変更とする。

(1) 事業の経費の配分の変更のうち次に掲げる経費の流用による変更で、流用先の経費(工事費については各種別経費(本工事費、附帯工事費、測量及び試験費、用地費及び補償費、施設及び機械器具費、各種工事負担金並びに工事雑費をいう。以下同じ。))の増加額が変更前の当該経費に100分の20を乗じて得た額(当該額が20万円未満である場合は20万円)を超え

ないもの

ア 工事費の各種別経費相互間の流用。ただし、工事雑費への流用を除く。

イ 工事雑費又は地方事務費から実施設計費への流用

ウ 実施設計費から工事費（工事雑費を除く。）への流用

エ 地方事務費から工事費への流用

(2) 事業の内容の変更のうち、次に掲げる変更以外の変更

ア 事業についての全体計画又は設計図書の作成に必要な調査の種類又は方法の変更

イ 工事施工場所又は構造物の規模若しくは基本構造の変更。ただし、誤測又は違算によるわずかな変更を除く。

ウ 施設及び機械器具費に係る仮設物の数量又は1基当たり50万円を超える機械器具の品目、規格、型式若しくは数量の変更

エ 本工事費若しくは附帯工事費の算定の基礎となる工種ごとの額又は測量及び試験費、用地費及び補償費若しくは施設及び機械器具費の算定の基礎となる区分ごとの額の変更（当該変更に係る額が、当該工種又は区分の変更前の額に100分の20を乗じて得た額（当該額が200万円を超える場合は200万円）を超えるものに限る。）を伴う事業の内容の変更

オ 事業の完了予定期日の1月以上の延期又は当該期日の属する年度の翌年度にわたる延期

（補助事業等計画変更承認申請書の様式）

第7条 交付規則第4条第1項第1号に規定する補助事業等計画変更承認申請書の様式は、別記第6号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第7号様式）とする。

（遂行困難な場合の報告）

第8条 交付規則第4条第1項第3号に規定する報告は、

事業の遂行が困難となった理由及び事業の遂行状況を記載した書類を提出することにより行うものとする。

(状況報告)

第9条 交付規則第6条の報告書の様式及び提出時期は、次のとおりとする。

報告書の種類	報告書の様式	提出時期
補助事業等着手報告書	別記第8号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあつては、別記第9号様式）	事業の着手後 7日以内
補助事業等遂行状況報告書	別記第10号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあつては、別記第11	事業の着手後 毎会計年度1 2月31日現 在の遂行状況

	号様式)	を翌月 1 4 日 まで
--	------	-----------------

2 次の各号に掲げる場合には、補助事業等遂行状況報告書の提出は要しない。ただし、事業に着手した年度の次年度以降は除く。

(1) 事業の着手後 3 月以内に事業が完了する場合

(2) 事業の着手後 1 月以内に 1 2 月 3 1 日になる
場合

(補助事業等実績報告書の様式等)

第 1 0 条 交付規則第 7 条に規定する補助事業等実績報告書の様式及び同条に規定する添付書類は、次の表の区分に応じ、同表に定めるところによる。

区 分	補助事業等実績報告書の様式	添 付 書 類
事業が完了し	別記第 1 2 号様式	別記第 1 4 号様

<p>た場合（事業の廃止の承認を受けた場合を含む。）</p>	<p>（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第13号様式）</p>	<p>式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第15号様式）による収支精算書</p>
		<p>別記第16号様式による完了検査等調書</p>
		<p>完了設計書</p>
<p>会計年度内に当該交付決定の対象となつた事業が完了しない場合</p>	<p>別記第17号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第18号様式）</p>	<p>別記第19号様式による年度末収支状況調書</p>
		<p>出来高工程表</p>

（委任規定）

第 1 1 条 この訓令の実施に関し必要な事項は、地方協力局長が定める。

附 則

この訓令は、平成 1 9 年 9 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年 1 2 月 2 8 日防衛省訓令第 6 7 号）（抄）

（施行期日）

1 この訓令は、令和 2 年 1 2 月 2 8 日から施行する。

ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（ 1 ） ・ （ 2 ） （略）

（経過措置）

2 この訓令の施行の際現にあるこの訓令による改正前の様式（次項において「旧様式」という。）により使用されている書類は、この訓令による改正後の様式によるものとみなす。

- 3 この訓令の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

附 則（令和5年3月31日防衛省訓令第22号）

（施行期日）

- 1 この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この訓令の施行の際、現にこの訓令による改正前の様式により使用されている書類は、この訓令による改正後の様式によるものとみなす。

別記第1号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長 殿
東海防衛支局長

申請者 住 所
氏 名

令和 年度において、下記のとおり を実施したいので、防衛施設周辺障害防止事業補助金交付要綱により補助金の交付を申請する。

記

- 1 事業の目的：
- 2 補助金等交付申請額： 円
- 3 事業の内容及び経費配分：事業の内容及び経費配分書に記載のとおり
- 4 事業実施予定期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 収支予算：収支予算書に記載のとおり

添付書類：1 事業の内容及び経費配分書
2 収支予算書

補助金等交付申請書

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長 殿
東海防衛支局長

申請者 住 所
氏 名

令和 年度において、下記のとおり を実施したいので、防衛施設周辺障害防止事業補助金交付要綱により国庫債務負担行為に係る事業として補助金の交付を申請する。

記

- 1 事業の目的：
- 2 補助金等交付申請額： 円
〔 国庫債務負担年割額 令和 年度 円 〕
〔 令和 年度 円 〕
- 3 事業の内容及び経費配分：事業の内容及び経費配分書に記載のとおり
- 4 事業実施予定期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 収 支 予 算：収支予算書に記載のとおり

添付書類：1 事業の内容及び経費配分書
2 収支予算書

注： 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額の区分について適宜追加すること。

事業の内容及び経費配分書

事業の名称：

施 工 場 所	工種・ 品目・ 調査の 種類等	構造・工法・ 規格・型式・ 調査の方法 等	事業量 又 は 数 量	経 費 の 配 分			国 庫 補 助 割 合	経 費 負 担 の 内 訳					備 考
				経 費 の 区 分	工 事 費 の 区 分	事 業 費		国 庫 補 助 金	都 道 府 県 費	市 町 村 費	そ の 他	計	
						円		円	円	円	円	円	

注： 経費の算出基礎となった書類（設計図書等）を添付すること。

事業の内容及び経費配分書

事業の名称：

施 工 場 所	工種・ 品目・ 調査の 種類等	構造・工法・ 規格・型式・ 調査の方法 等	事業量 又は 数量	経 費 の 配 分			国庫 補助 割合	経 費 負 担 の 内 訳						備 考
				経 費 の区分	工事費 の区分	事業費		国庫補助金		都道府 県 費	市町 村費	その 他	計	
								年割額						
								令和 年度	令和 年度					
						円		円	円	円	円	円	円	

- 注：1 経費の算出基礎となった書類（設計図書等）を添付すること。
 2 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。

別記第5号様式（第5条関係）

収支予算書

事業の名称：

1 収入の部

費目	予算額	内訳	備考
	円	円	

2 支出の部

費目	予算額	内訳	備考
	円	円	

3 補助事業者の予算議決（又は議決予定）年月日：令和 年 月 日

注： 収支予算には、国庫補助金以外の財源も併せて記載すること。

別記第6号様式（第7条関係）

補助事業等計画変更承認申請書
（障害防止事業）

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった
の実施について、別紙理由書に記載した理由により事業の内容及び経費の配分を変更
したいので、承認を受けたく関係書類を添えて申請する。

注： 関係書類は、補助金等交付申請書又は補助事業等計画変更承認申請書に添付
された書類並びに当該書類に添付された書類及び図面の各葉のうち、補助事業
等の計画の変更に伴い変更を必要とする事項が記入されている各葉について、
書類にあっては変更前と変更後の補助事業等の計画の相違を容易に比較対照で
きるよう所要の修正を加えたものとし、図面にあっては変更後の内容を明示し
たものとする。

別記第7号様式（第7条関係）

補助事業等計画変更承認申請書
（障害防止事業）

文 書 番 号
令和 年 月 日

防衛局長 殿
東海防衛支局長

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった の実施について、別紙理由書に記載した理由により事業の内容及び経費の配分を変更したいので、承認を受けたく関係書類を添えて申請する。

注： 関係書類は、補助金等交付申請書又は補助事業等計画変更承認申請書に添付された書類並びに当該書類に添付された書類及び図面の各葉のうち、補助事業等の計画の変更に伴い変更を必要とする事項が記入されている各葉について、書類にあっては変更前と変更後の補助事業等の計画の相違を容易に比較対照できるよう所要の修正を加えたものとし、図面にあっては変更後の内容を明示したものとする。

別記第8号様式（第9条関係）

補助事業等着手報告書
（障害防止事業）

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった
について着手したので、下記のとおり報告する。

記

1 契約の状況等

(1) 設計金額： 円

(2) 契約額： 円

2 着手年月日：令和 年 月 日

3 完了予定年月日：令和 年 月 日

4 契約の結果生じた補助金の額の剰余額： 円

注：1 2件以上の契約を締結する場合は、記中1の事項を契約ごとに記載すること。
2 補助の対象事業の施工主体が地方公共団体以外の者である場合は、契約等の
方式（一般競争入札、指名競争入札、随意契約（随意契約によった理由））、
入札金額、落札金額を記載した適当な様式の書類を添付すること。

別記第9号様式（第9条関係）

補助事業等着手報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長 殿
東海防衛支局長

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった について着手したので、下記のとおり報告する。

記

1 契約の状況等

(1) 設計金額： 円

(2) 契約額： 円

2 着手年月日：令和 年 月 日

3 完了予定年月日：令和 年 月 日

4 契約の結果生じた補助金の額の剰余額： 円

注：1 2件以上の契約を締結する場合は、記中1の事項を契約ごとに記載すること。

2 補助の対象事業の施工主体が地方公共団体以外の者である場合は、契約等の方式（一般競争入札、指名競争入札、随意契約（随意契約によった理由）、入札金額、落札金額を記載した適当な様式の書類を添付すること。

別記第10号様式（第9条関係）

補助事業等遂行状況報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった
について、令和 年 月 日現在の遂行状況を下記のとおり報告する。

記

1 収支の状況

(1) 収入の部

費目	予算額	収入済額	収入未済額	備考
	円	円	円	

(2) 支出の部

費目	予算額	支出済額	支出未済額	備考
	円	円	円	

2 出来高の状況

経費の区分 及び工事費 の区分	工種・品目 ・調査の種 類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補 助金の 交付済 額	備考
		事業 量又 は数 量	事業費 (A)	事業 量又 は数 量	事業費 (B)			
			円		円	%	円	

注： 地方事務費及び工事雑費に関する出来高の状況は、記載の必要がない。

別記第 1 1 号様式（第 9 条関係）

補助事業等遂行状況報告書
(障害防止事業)

文 書 番 号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった について、令和 年 月 日現在の遂行状況を下記のとおり報告する。

記

1 収支の状況

(1) 収入の部

費 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	備 考
	円	円	円	

(2) 支出の部

費 目	予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	備 考
	円	円	円	

2 出来高の状況

経費の 区分及 び工事 費の区 分	工種・ 品目・ 調査の 種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補助金 の交付済額			備考
		事業 量又 は数 量	事業費 (A)	事業 量又 は数 量	事業費 (B)		年割額			
							令和 年度	令和 年度		
			円		円	%	円	円	円	

注：1 地方事務費及び工事雑費に関する出来高の状況は、記載の必要がない。

2 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。

別記第12号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった
を実施したので、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
- 2 補助金交付決定額： 円
- 3 収支精算：収支精算書に記載のとおり
- 4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 事業の内容及び成果

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		実績		差引増△減額 (A)－(B) 比較	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)		
			円		円	円	

- 6 事業の成績：完了検査等調書に記載のとおり

- 添付書類：1 収支精算書
2 完了検査等調書
3 完了設計書

別記第13号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった を実施したので、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
2 補助金交付決定額： 円
〔 国庫債務負担年割額 令和 年度 円 〕
〔 令和 年度 円 〕
3 収支精算：収支精算書に記載のとおり
4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
5 事業の内容及び成果

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		実績		差引増△減額 (A)－(B) 比較	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)		
			円		円	円	

- 6 事業の成績：完了検査等調書に記載のとおり

- 添付書類：1 収支精算書
2 完了検査等調書
3 完了設計書

注：国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額の区分について適宜追加すること。

別記第14号様式（第10条関係）

収支精算書

事業の名称：

1 収入の部

費目	予算額	精算額	差引増△減	備考
	円	円	円	

2 支出の部

費目	予算額	精算額	差引増△減	備考
	円	円	円	

3 国庫補助金精算

費目	国庫補助金 交付決定額	精算事業 費総額	国庫補助 割合	国庫補助 金精算額	概算払受 領総額	差引国庫補 助金未受領 (返還)額	備考
	円	円		円	円	円	

別記第15号様式（第10条関係）

収支精算書

事業の名称：

1 収入の部

費目	予算額	精算額	差引増△減	備考
	円	円	円	

2 支出の部

費目	予算額	精算額	差引増△減	備考
	円	円	円	

3 国庫補助金精算

費目	国庫補助金 交付決定額	精算事業費総額	国庫補助割合	国庫補助金精算額				概算払 受領総額	差引国庫補助金未受領 (返還)額	備考
				年割額		令和 年度	令和 年度			
				令和 年度	令和 年度					
	円	円			円	円	円	円		

注： 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。

別記第16号様式（第10条関係）

完了検査等調書

事業の名称：

1 完了検査調書

(1) 完了年月日：令和 年 月 日

(2) 完了検査年月日：令和 年 月 日

2 備品等調書

品名	規格	数量	購入単価	購入金額	購入年月日	耐用年数	継続使用希望の有無	備考
			円	円				

別記第17号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった
の令和 年度における実績について、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
- 2 補助金交付決定額： 円
- 3 年度末の収支の状況：年度末収支状況調書に記載のとおり
- 4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 事業の内容及び年度末の出来高

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補助金の交付済額	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)			
			円		円	%	円	

- 添付書類：1 年度末収支状況調書
2 出来高工程表

補助事業等実績報告書
(障害防止事業)

文書番号
令和 年 月 日

防衛局長
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった の令和 年度における実績について、下記のとおり報告する。

記

- 事業所要額： 円
- 補助金交付決定額： 円
〔 国庫債務負担年割額 令和 年度 円 〕
〔 令和 年度 円 〕
- 年度末の収支の状況：年度末収支状況調書に記載のとおり
- 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 事業の内容及び年度末の出来高

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補助金の交付済額		備考
		事業量は数量	事業費(A)	事業量は数量	事業費(B)		年割額		
							令和年度	令和年度	
			円		円	%	円	円	

- 添付書類：1 年度末収支状況調書
2 出来高工程表

注：国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額及び年割額の区分について適宜追加すること。

別記第19号様式（第10条関係）

年度末収支状況調書

事業の名称：

1 収入の部

費目	予算額	収入済額	収入未済額	備考
	円	円	円	

2 支出の部

費目	予算額	支出済額	支出未済額	備考
	円	円	円	